

# 令和6年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立桶川西中学校

## はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

## <全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和6年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

### 1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象

中学校第3学年、原則として全生徒

### 3 調査実施日

令和6年4月18日(木)

#### 4 調査の内容

|                     |   |   |
|---------------------|---|---|
| (国語、数学)<br>教科に関する調査 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校調査は、国語、数学とする。</li> <li>・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等</li> <li>② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容</li> </ul> </li> <li>・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。</li> </ul> |   |
|                     | 【中学校 国語・数学 各50分】  |   |
| 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 | 児童生徒に対する調査  | 学校に対する調査  |
|                     | 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査<br>(例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など<br><br><b>【20分程度】</b>  | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br>(例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など |

### 本校の調査結果の概況

#### 中学校

<教科に関する調査>   は全国平均正答率を上回ったもの



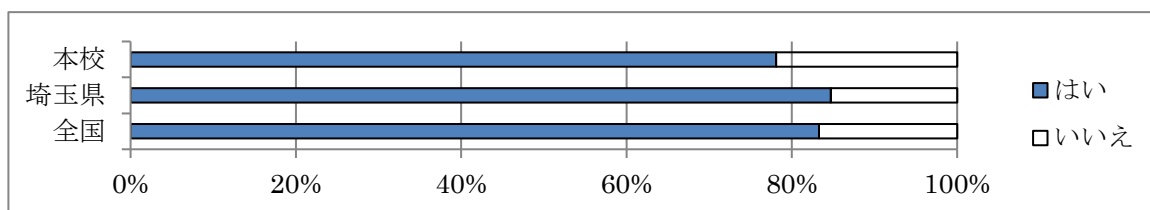
| 国語             |     |             |            |             |            |     |             |            |             |
|----------------|-----|-------------|------------|-------------|------------|-----|-------------|------------|-------------|
| 学習指導要領の領域等     | 設問数 | 本校平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) | 学習指導要領の領域等 | 設問数 | 本校平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) |
| 言葉の特徴や使いに関する事項 | 3   | 59.3        | 59.7       | 59.2        | 話すこと・聞くこと  | 3   | 61.1        | 60.5       | 58.8        |
| 情報の扱い方に関する事項   | 2   | 59.4        | 60.2       | 59.6        | 書くこと       | 2   | 70.5        | 66.8       | 65.3        |
| 我が国の言語文化に関する事項 | 1   | 77.8        | 75.2       | 75.6        | 読むこと       | 4   | 45.3        | 49.2       | 47.9        |

| 数学        |     |             |            |             |
|-----------|-----|-------------|------------|-------------|
| 学習指導要領の領域 | 設問数 | 本校平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) |
| 数と式       | 5   | 52.9        | 51.1       | 51.1        |
| 図形        | 3   | 38.4        | 42.4       | 40.3        |
| 関数        | 4   | 62.3        | 61.1       | 60.7        |
| データの活用    | 4   | 55.9        | 57.1       | 55.5        |

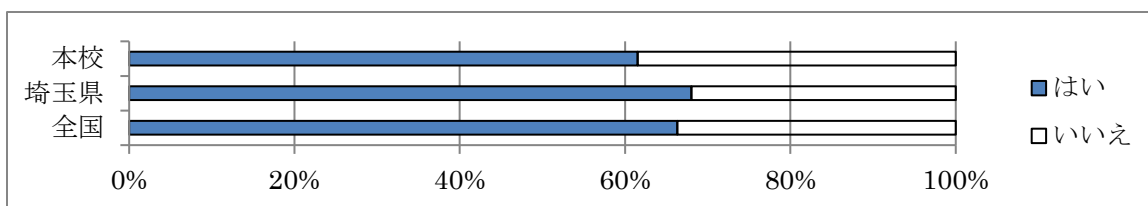
＜生徒への質問紙調査＞（主なものをグラフで表示）

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う  
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

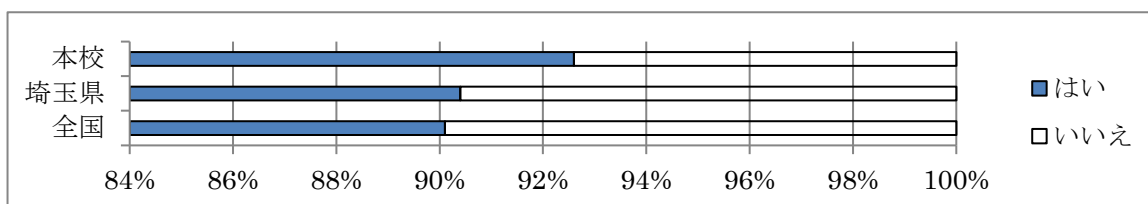
自分にはよいところがあると思いますか。



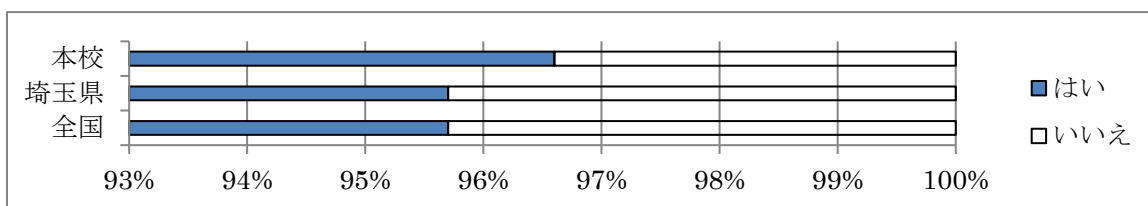
将来の夢や目標を持っていますか。



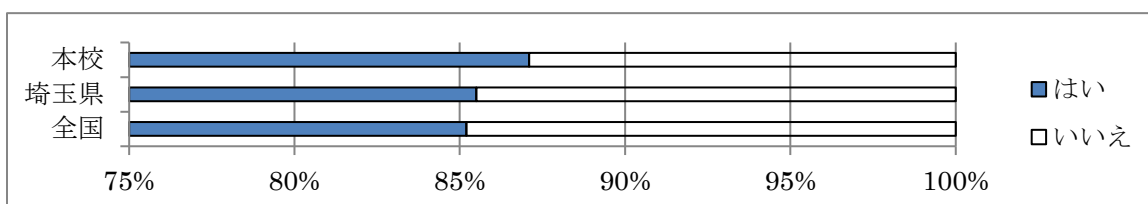
友達関係に満足していますか。



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



1・2年生の時の学習の中で PC やタブレットを使って友達と協力しながら学習を進めることができましたか。



# 本校の調査結果の分析・考察

## <国 語>

### 【領域別】

「情報の扱い方に関する事項」、「読むこと」の領域以外において全国平均を上回った。

「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、授業の帯単元として漢字小テストを行い、わからない言葉の意味調べを行ったり、それを全体で共有したりした。また、文法の学習を丁寧に積み重ねてきた成果と考えられる。

「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、古典の学習の際に現代仮名遣いの確認、現代語訳や現代と意味が違う言葉の確認を行っている成果であると考えられる。

「話すこと・聞くこと」の領域では、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、他者との意見交流の機会を重視し、聞き取りテストを取り入れた成果であると考えられる。

「書くこと」の領域では、定期試験で課題作文を出題し、課題に正対しているか確認をし、文脈の乱れを正したり、原稿用紙の使い方を確認したりして答案を返却している成果であると考えられる。

「情報の扱い方に関する事項」の領域は、情報と情報との関係の捉え方や情報の整理の仕方について、現在取り組んでいる ICT を取り入れた学習を含め、今後一層学びを工夫する。

「読むこと」の領域では、文の構成や内容の整理、筆者の考えや登場人物の気持ちや意図を読み取ってきたが、文脈や語句から筆者の考えや登場人物の気持ちを読み取ることがまだまだ苦手な生徒が多いと考えられ、改善を要する。

### 【問題（例）】

問題例 みちたりたの線部のひらがなを漢字に直し、楷書でいねいにかきなさい。

正答 満ち足りた

漢字の書きの問題ではあるが、全国平均・県平均を大きく上回った問題である。全国平均正答率は 68.8%、県平均正答率は 69.7%、本校正答率は 76.4%であった。漢字の小テストを日々、実施することによって、着実に、確実に力がついていると考えられる。

### 【問題（例）】

問題例 田中さんは、A～Cまでの短歌によまれている情景の時間帯が異なることに気付きました。線部①、②、③に着目して、夕方から翌朝へという時間の流れに沿って順番を並べ替えるとどのようになりますか。①、②、③を適切に並べ替えて答えなさい。

正答 ③→①→②

全国平均、県平均を大きく下回った問題である。全国平均正答率は 48.3%、県平均正答率は 48.6%、本校正答率は 38.9%であった。言葉の意味を正確に捉え、内容を正確に読み取れるようになることで、正答できるようになると考える。

普段の授業から、ちょっとした疑問やわからない語句などを調べ、正確な読み取りができるように学習し、「読むこと」の力を高めたい。

## <数 学>

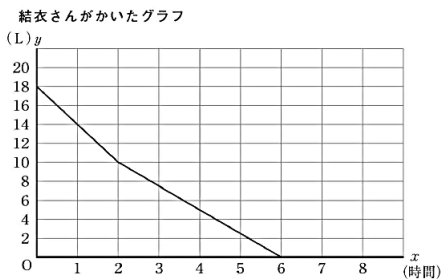
### 【領域別】

領域別にみると「数と式」「関数」については県平均も全国平均も上回っている。また、「データの活用」も全国平均を上回っている。普段の授業から ICT 活用をすることで演習時間を確保することができ、基本的な計算力や知識が身に付いたと考えられる。また、「関数」においてはグラフを活用する問題の正答率が高い。ICT を活用することでグラフの特徴や複数のグラフの比較を正確に、かつ視覚的に捉えられるようにできた。それをもとにした協働的な学びによって、自分の考えを他者へ伝えることや自分にはない考えを発見することにつながり、説明をする力が身に付いたと考えられる。一方、「図形」については、全国平均を 1.9 ポイント下回っている。問題別に比較すると「回転移動について理解しているかどうかをみる問題」に関しては全国平均を 5.8 ポイント下回っているが、「証明に関する問題」に関しては全国平均を上回っている。「図形」の領域においては問題によつての正答率の差が大きく、知識・技能の定着にばらつきが見られることが課題である。

### 【問題（例）】

#### 問題 8

(3) ストープを 6 時間使用して、18 L の灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考え、使用計画を立てます。そこで、結衣さんは、20 ページのストープの使用時間と灯油の残量のグラフをもとに、次のようなグラフをかきました。



結衣さんがかいたグラフのようすは、ストープを次のように設定して何時間使用するかを表しています。

はじめに設定を「**ア**」にして **イ** 時間使用し、その後、設定を「**ウ**」にしてから **エ** 時間使用する。

上の **ア**、**ウ** には「強」、「弱」のどちらか 1 つを、**イ**、**エ** には当てはまる数をそれぞれ書きなさい。

正答 ア 強 ウ 弱

イ 2 エ 4

本校 84.0% 全国 76.9%

#### <分析>

グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題である。

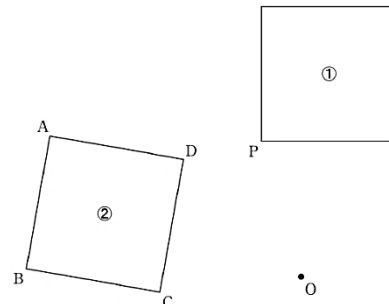
日常生活や社会の事象を考察する場面では、事象の中にある関数関係を見だし、数学的に表現・処理して問題を解決し、得られた結果の意味を考察することが求められる場合がある。その際、問題解決の方法について数学的に説明できることが大切である。関数の知識が定着しており、かつ普段から式やグラフを利用して事象を説明する問題に取り組んでいる生徒が多いと考えられる。

### 【問題（例）】

#### 問題 3

③ 次の図で、正方形②は、正方形①を点 O を中心として反時計回りに  $80^\circ$  だけ回転移動したものです。

正方形①の頂点 P に対応する正方形②の頂点を、下のアからエまでの中から 1 つ選びなさい。



ア 頂点 A

イ 頂点 B

ウ 頂点 C

エ 頂点 D

正答 ウ

本校 62.5% 全国 68.3%

#### <分析>

回転移動について理解しているかどうかをみる問題である。

図形の性質や関係を考察する場面では、移動前と移動後の二つの図形の位置関係に着目して、図形の移動の特徴を的確に捉えることが大切である。図形の回転移動について、移動前と移動後の二つの図形の頂点の対応を読み取ることができなかつたと考えられる。ICT を活用しながら、実際に図形を移動させ、頂点の動いた軌跡なども視覚的に捉えられるようにして、知識・技能を定着させる必要がある。

## <質問紙調査から>

### 【(例1)】

#### 質問

自分には、よいところがあると思いますか。

#### 回答結果

|    | 当てはまる | どちらかといれば当てはまる |
|----|-------|---------------|
| 本校 | 38.9% | 39.2%         |
| 県  | 42.4% | 42.3%         |
| 全国 | 40.4% | 42.9%         |

#### <分析>

- 本校の肯定的な回答の割合は、県や全国のそれを下回っている。また、本質問については毎年同様の傾向が見られる。
- 関連する内容として「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」  
「将来の夢や希望をもっていますか。」の質問についても肯定的な回答が県、全国に比較し、低い傾向にある。自分に自信のない生徒、他者から自分のよさが認められていないと感じている生徒の存在が気になる場所である。
- 自信をもって自分の意見を発言できないためか「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」という発問も肯定的な回答が県、全国の割合よりも低い。
- 日頃の授業において、主体的・対話的で深い学びを実現するための協働的な学びの場面を一層充実させ、生徒一人一人が自分の考えを発言し、それが課題解決に結びつく学習経験を積み重ねていくことにより、自分のよさを認められるようになるのではないかと考える。

### 【(例2)】

#### 質問

友達関係に満足していますか。

#### 回答結果

|    | 当てはまる | どちらかといれば当てはまる |
|----|-------|---------------|
| 本校 | 64.9% | 27.7%         |
| 県  | 55.0% | 35.4%         |
| 全国 | 55.0% | 35.1%         |

#### <分析>

- 「友達関係に満足していますか。」という質問に対し、「当てはまる」と答えた生徒の割合が、県、全国のそれを10ポイント近く上回った。友達関係に満足している生徒が多い傾向が認められる。
- 関連する内容として「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の質問についても、肯定的な回答が県、全国に比較し、わずかに多い傾向にあった。互いの人格を尊重する姿が認められる。
- 体育祭や音楽会をはじめとする学校行事でも集団としての成長や成果が認められている。
- 友達関係の満足感から、協調性や、他者尊重、思いやりなどのいわゆる非認知能力の高まりが期待できる。
- 学力の支えとなる非認知能力の向上を目指し、カリキュラムマネジメントに取り組むことが学力向上につながると考えられる。

## <埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「令和6年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

### 1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

### 2 調査対象

中学校第1・2・3学年 原則として全生徒

### 3 調査実施日

令和6年5月9日（木）

### 4 調査の内容

#### （1）教科に関する調査

中学校第1学年 国語、数学 第2学年、第3学年 国語、数学、英語

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

#### （2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

## 本校の調査結果の概況

<教科に関する調査>          は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた生徒の割合…前年度から学力が伸びた生徒の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

| 国語              | 第1学年 |         |         | 第2学年 |         |         | 第3学年 |         |         |
|-----------------|------|---------|---------|------|---------|---------|------|---------|---------|
|                 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 言葉の特徴や使い方       | 14   | 60.2    | 60.5    | 13   | 68.3    | 67.6    | 12   | 66.4    | 67.5    |
| 情報の扱い方、我が国の言語文化 | 4    | 72.2    | 74.0    | 8    | 46.6    | 43.7    | 7    | 71.4    | 69.5    |
| 話すこと・聞くこと・書くこと  | 4    | 57.9    | 58.9    | 3    | 70.7    | 72.4    | 6    | 55.6    | 55.4    |
| 読むこと            | 8    | 54.3    | 52.3    | 7    | 60.3    | 60.7    | 8    | 73.1    | 70.4    |
| ※学力の伸びた児童の割合    |      | ↑↑↑     | ↑↑      |      | ↑↑↑     | ↑↑      |      | ↑↑↑↑    | ↑↑↑     |

| 数学            | 第1学年 |         |         | 第2学年 |         |         | 第3学年 |         |         |
|---------------|------|---------|---------|------|---------|---------|------|---------|---------|
|               | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 1年数と計算2,3年数と式 | 11   | 62.3    | 61.0    | 14   | 58.2    | 53.7    | 11   | 66.6    | 66.1    |
| 図形            | 11   | 55.4    | 54.4    | 8    | 38.2    | 33.3    | 8    | 63.5    | 59.3    |
| 1年変化と関係2,3年間数 | 7    | 52.5    | 51.4    | 6    | 60.7    | 57.6    | 7    | 57.7    | 57.0    |
| データの活用        | 4    | 35.3    | 34.1    | 5    | 52.9    | 49.3    | 7    | 45.1    | 42.3    |
| ※学力の伸びた児童の割合  |      | ↑↑      | ↑↑      |      | ↑↑↑↑↑   | ↑↑↑↑    |      | ↑↑      | ↑       |

| 英語           | 第2学年 |         |         | 第3学年 |         |         |
|--------------|------|---------|---------|------|---------|---------|
|              | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 聞くこと         | 10   | 80.6    | 81.1    | 10   | 60.1    | 59.9    |
| 読むこと         | 18   | 53.1    | 58.0    | 18   | 54.1    | 54.0    |
| 話すこと         | 2    | 39.8    | 37.0    | 2    | 48.6    | 45.5    |
| 書くこと         | 6    | 46.4    | 49.8    | 6    | 53.4    | 50.7    |
| ※学力の伸びた生徒の割合 |      |         |         |      | ↑↑↑↑↑   | ↑↑↑↑↑   |

<生徒への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段: 県の達成率、下段: 本校の達成率、        は80%以上 (%)

| 内容                | 項目                 | 第1学年        | 第2学年        | 第3学年        |
|-------------------|--------------------|-------------|-------------|-------------|
| ○けじめある生活ができる      | 1 時刻を守る            |             |             |             |
|                   | ① 登校時刻             | 98.0        | 96.6        | 95.9        |
|                   |                    | <b>96.7</b> | <b>98.5</b> | <b>96.5</b> |
|                   | ② 授業の開始時刻          | 96.0        | 96.7        | 97.1        |
|                   |                    | <b>92.7</b> | <b>99.2</b> | <b>97.9</b> |
|                   | 2 身の回りの整理整頓をする     |             |             |             |
|                   | ③ 靴そろえ             | 88.7        | 89.9        | 92.5        |
|                   |                    | <b>86.1</b> | <b>89.5</b> | <b>94.4</b> |
| ○礼儀正しく人と接することができる | ④ 整理整頓             | 75.2        | 78.0        | 80.2        |
|                   |                    | <b>74.2</b> | <b>85.0</b> | <b>82.4</b> |
|                   | 3 進んであいさつや返事をする    |             |             |             |
|                   | ⑤ あいさつ             | 84.7        | 83.0        | 85.3        |
|                   |                    | <b>84.8</b> | <b>90.2</b> | <b>93.0</b> |
|                   | ⑥ 返事               | 91.4        | 91.6        | 93.2        |
|                   |                    | <b>90.7</b> | <b>94.7</b> | <b>90.8</b> |
|                   | 4 ていねいな言葉づかいを身に付ける |             |             |             |
| ⑦ 適切な言葉づかい        | 90.2               | 91.2        | 93.4        |             |
|                   | <b>90.1</b>        | <b>91.7</b> | <b>93.7</b> |             |
| ⑧ やさしい言葉づかい       | 89.6               | 88.2        | 91.4        |             |
|                   | <b>89.4</b>        | <b>87.2</b> | <b>91.5</b> |             |
| ○約束やきまりを守ることができる  | 5 学習のきまりを守る        |             |             |             |
|                   | ⑨ 学習準備             | 91.6        | 91.7        | 93.9        |
|                   |                    | <b>94.7</b> | <b>93.2</b> | <b>95.8</b> |
|                   | ⑩ 話を聞き発表する         | 79.4        | 79.1        | 82.1        |
|                   |                    | <b>80.1</b> | <b>78.9</b> | <b>78.2</b> |
|                   | 6 生活のきまりを守る        |             |             |             |
|                   | ⑪ 集団の場での態度         | 93.6        | 94.7        | 96.3        |
|                   |                    | <b>94.0</b> | <b>94.0</b> | <b>94.4</b> |
| ⑫ 掃除・美化活動         | 88.0               | 87.5        | 89.1        |             |
|                   | <b>90.1</b>        | <b>87.2</b> | <b>92.3</b> |             |



## 本校の学力向上の取組

### 授業における取組例

#### ★1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある学習活動の充実

- (1) 基本的に4人班による授業形態で学習に取り組みます。説明する場面では生徒同士の学び合いを取り入れ、説明し合います。
- (2) 選択問題の場面では、一人一人の興味関心に応じた学習課題に取り組み、同じ問題を選択した仲間と解決策を考え、それを踏まえた上で自分の問題解決へのアプローチ方法について説明し、共有します。
- (3) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を行き来し、考え、説明し、伝え合う活動のある授業実践に学校全体で取り組みます。

#### ★2 テストレポートの取組

- (1) 数学科では、定期テスト後、テスト復習レポートを作成しています。問題に再度取り組み復習を通して理解を深めます。

#### ■3 思考力・判断力・表現力を伸ばす課題設定

- (1) 英語科では、生徒にとって必然性があり、生徒自身が本当に表現したい場面に出会える学習課題に取り組みます。
- (2) 生徒同士が英語で伝え合う場面では、できるだけ実践的な場面を設定して生徒の主体性を引き出します。

### 授業以外の取組

#### ★1 家庭学習の習慣化

- (1) 今年度からタブレット端末を基本的には毎日家庭に持ち帰り、家庭学習に活用できるようにしています。
- (2) 定期テスト3週間前にテスト範囲を発表し、計画的に学習に取り組む習慣を身に付けています。

#### ■2 生徒一人一人に合った学力向上に向けての取組

- (1) デジタルドリルを活用し、生徒が自分に合った内容や方法を選択して家庭学習に取り組むことができます。
- (2) 全国及び県学力学習状況調査結果を踏まえ、自分に力に合わせて取り組める自由課題を用意しています。

#### ☆…成果を上げたと考えられる取組

#### ■…課題を解決するための取組

## 保護者・地域の皆様へ

本年度の埼玉県学力学習状況調査では、1学年の国語・数学、2学年の国語・数学、3学年の国語・数学・英語で学力が伸びた生徒の割合が、全県の同割合を大きく上回り、多くの生徒が前年度より学力を伸ばすことができました。

本校では、令和6年度から3年間、『個別最適な学び』と『協働的な学び』のある学習指導をテーマに「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践の研究に取り組んでいます。研究を通して引き続き生徒の学力および非認知能力の向上を目指します。

埼玉県学力学習状況調査の質問紙調査では、ほとんどの項目で80%以上の達成率が示され、規律ある態度を身に付けている状況がうかがえます。全国学力・学習状況調査では「毎日決まった時間に就寝する。」「スマホやPCの使い方について家の人と約束したことを守っている。」という質問に肯定的な回答をした生徒が全国、県に比較して多く、日々の生活を大切に過ごしていることがわかります。ご家庭のご協力に深く感謝申し上げます。

今後も家庭・地域との一層の連携を図り生徒一人一人の健やかな成長と学力向上に取り組んで参ります。

## 本校の学力向上プラン

### (1) 本校の学習指導目標

「学力」の3つの要素から

- (1) 「基礎的・基本的な知識や技能」：基礎的・基本的な学習内容を生徒に確実に身に付けさせる。
- (2) 「思考力・判断力・表現力」：よく考え、豊かに表現できる力を育てる。
- (3) 「学習意欲」：学習規律の定着と徹底を図り、主体的に学習に取り組む姿勢を育て

「学力」の育成のため、(1)「何ができるようになるか」(2)「何を学ぶか」(3)「どのように学ぶか」という3つの視点を持ち、質の高い理解を図るために生徒の主体的な活動の充実を図る。

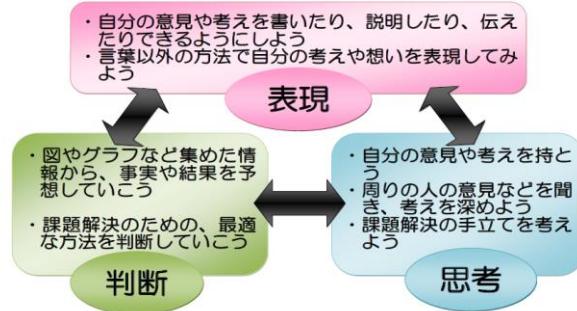
### (2) 具体的な手立て

#### ①「授業の約束（3つの行動）」

ア 生徒の思考・表現を可視化する言語活動を充実させた、意図的・計画的な学習を積み重ねることにより、思考力・判断力・表現力を育み、学力の向上を図る。

イ 「意見を聞いて比べ、深める」  
「自分の意見や考えを発表する」  
「協力して実習・実技や話し合いをする」などの活動を取り入れることで「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の視点で授業改善を進める。

### 「思考力・判断力・表現力を伸ばそう！」



#### ②「授業の約束（5つの心構え）」

ア 「授業の約束」を守り、きちんとした態度で授業を受ける。

イ 学習規律を定着させ、授業に向かう気持ちと姿勢を作る。

ウ 1時間の授業を大切にし、意欲的に授業に取り組む姿勢を育てる。

### 授業の5つの心構え

進んで学び、自らを向上させよう

- 一、2分前着席をしよう
- 二、大きな声であいさつをしよう
- 三、意欲的に取り組もう
- 四、自分の考えを表現しよう
- 五、準備をしてから休み時間にしよう

### ③学習指導

ア 互いに協力して学び合う学習集団を醸成する。

イ 教科部会の定期的な開催を軸に、指導と評価の一体化を図り、常に授業改善に努め、わかる喜びを味わわせる指導法の工夫・改善を図る。

ウ 定期テスト前の放課後や長期休業日を利用した補習授業を実施する。また、基礎・基本の確実な定着を図るため、長期休業後に確認テスト（国・数・理・社・英）を全学年ともに実施し、結果の活用を図る。

エ 英語、数学でのTT指導による授業展開で、個に応じた指導の充実を図る。

オ 家庭学習の習慣化を目指し、自主学習ノートを提出させ担任が指導・助言をする。

カ 校内研修の充実を図り、学力調査結果の分析を通して、指導法と評価の工夫の改善を図る。